

総務文教常任委員会

委員長 甚一 正男 美吾 淳
 副委員長 健二 富勝 信智
 委員 木本 岡山 美智
 並松 福田 大守
 委員 長 小原 並木 松富 大守

平成23年度一般会計補正予算(教育費)について

問 生徒指導における小中学校一環推進研究事業について、中一ギャップ解消等のための研究事業は、具体的にどういうことをするのか伺いたい。

答 日ごろの授業の中で、人間関係をより良くするためのスキルを身につけさせるものである。例えばお互いに言葉がけをするとか、あいさつをするなど、言葉一つで人間関係がグクシヤクすることがあるので、そうならないように小学校低学年のうちから、どういう言葉がけをすればより良い人間関係が育成できるか、授業を中心に中学3年までの各学年で研究事業を行っていく。(所管課・学校教育課)

熊谷市立江南総合文化会館条例の一部を改正する条例

問 本条例に規定する利用料金は上限額となっているが、指定管理者が決まった場合には、この金額を上限として、指定管理者が金額を決められるということか伺いたい。

答 この金額は上限額になっていることから、この上限額以下であれば、指定管理者が料金を変更することができる。(所管課・江南総合文化会館)

工事請負契約の締結について(仮称)熊谷市中央消防署庁舎及び熊谷東小学校区公民館建築・設備・電気工事)

問 この建物は消防庁舎と公民館の複合施設であり、4階にある公民館を利用する方は、エレベーターや階段を利用することになるが、階下の消防庁舎部分に一般の方が自由に出入りできないような工夫がされているのか伺いたい。

答 本施設には、エレベーター1基と、階段1、階段2がある。階段2については、消防署部分の1階から3階に通じているが、公民館利用者は利用できない構造になっている。また、玄関ホールにあるエレベーターと階段1からの消防署部分への出入りについては、消防署2階は、事務室のため出入りできるが、1階と3階は、消防署側から出ることではできても、入ることはできないような構造になっている。(所管課・消防総務課、社会教育課)

福祉環境常任委員会

委員長 新一 清次 安衛 一郎 浩
 副委員長 三夫 昭兵 和
 委員 森澤 井岡 三浦 本 大嶋
 委員 長 新一 三夫 清次 安衛 一郎 浩
 副委員長 黒澤 井岡 三浦 本 大嶋

熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例

問 ①児童クラブの定員については、どのような基準で定められているか②新設の奈良児童クラブの定員を30人にした理由について、それぞれ伺いたい。

答 ①国の「放課後児童クラブガイドライン」中で、児童クラブの望ましい基準について、集団の規模は、おおむね40人程度が望ましく、子ども1人当たり1・65平方メートル以上が望ましいとされている。②奈良児童クラブは保育室51平方メートルを30人で割ると1・70平方メートルになり、ガイドラインを満たすことから、30人とした。(所管課・保育課)

平成23年度一般会計補正予算(民生費・衛生費)について

問 「地域子育て支援推進事業」の13節委託料の内容について伺いたい。

答 市内の団体等に、子育て家庭の育児の負担を軽減するという目的のもとに、いろいろな子育てに関する相談を

受けてもらい、不安や悩みを解消するために進める事業である。内容としては、他の人とコミュニケーションを取りにくい母親等に対し、発達、しつけ、子どもたちへの接し方についていろいろ相談に乗るための人件費等である。(所管課・こども課)

問 本庁舎で行う太陽光発電等導入事業の内容について伺いたい。

答 本庁舎西側の地下駐車場の屋根に太陽光発電のシステムを設置する。また、1階フロアの蛍光灯をLEDに改修予定である。太陽光発電については、およそ10キロワット、LEDへの改修は180カ所を予定している。太陽光発電システムの導入により年間約3・7トン、LED照明の導入で年間約2・7トンのCO₂の削減ができると考えている。(所管課・環境政策課)



市民産業常任委員会

委員長 保照夫
副委員長 久夫
委員 野澤 健昇
栗原 くるみ
桜井 紀一
松浦 忠幸
山田 幸子
林

平成23年度一般会計補正予算について

問 緊急雇用創出基金事業補助金について、どんなところで緊急雇用があり補助したのか伺いたい。

答 熊谷市立熊谷図書館で、昨年新たに寄贈を受けた熊谷染関連資料についてのデータ分類等を行うための雇用が生じたため補助した。
(所管課・商業観光課)

問 商業振興事業について、具体的な事業内容について伺いたい。

答 富士見会商店街が空き店舗を借り、そこで熊谷の野菜等を利用した惣菜、地粉を使ったパスタや麺、せんべいなどを販売するほか、近隣商店街のアンテナショップも兼ね、近隣商店街と連携した事業に取り組んでいくという内容である。
(所管課・商業観光課)

問 埼玉野菜生産力強化支援事業について、農業機械等の購入の補助金ということだが、どういった機械を何台くらい購入するのか伺いたい。

答 乗用の全自動ネギ収穫機を3台、タマネギ及び野菜の移植機、自走型の噴霧機等の農作業の省力化に向けた機械の購入である。
(所管課・農業振興課)

問 小児救急医療医師派遣支援事業について、医師派遣の日数を46日分追加するということであるが、現在の実態について、また、どの病院から派遣してもらっているのか伺いたい。

答 小児救急医療の夜間診療は、医師派遣支援事業により月曜日と木曜日が可能となったが、それでもカバーできていないのが、火曜日と日曜日の夜間である。また、派遣される医師は埼玉県立小児医療センターの非常勤医師等である。
(所管課・健康づくり課)

問 玉作浄水場に新たな水源を設けるため、井戸を試掘することであるが、工事の内容について伺いたい。

答 地上から電気探査を行い、地下の水脈の状況を調査する。電気探査は5カ所行い、その中から条件の良い場所を試掘する予定である。
(所管課・工務課)



都市建設常任委員会

委員長 正夫
副委員長 高広
委員 秋山 一貫
野田 宣延
加賀 茂実
小林 生厚
須永 弥
杉田 小池
関口 池

平成23年度一般会計補正予算(土木費)について

問 建築確認手数料において、移転が予定されている農業大学の分も含んでいるとのことであるが、件数と延床面積について伺いたい。

答 構造適合性判定に係る総数として、約35件を見込んでいる。このうち農業大学校関係は、約25件である。また、農業大学の延床面積は、現在、計上している分については、約1万平方メートルである。
(所管課・建築審査課)

平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)について

問 玉作浄水場に新たな水源を設けるため、井戸を試掘することであるが、工事の内容について伺いたい。

答 地上から電気探査を行い、地下の水脈の状況を調査する。電気探査は5カ所行い、その中から条件の良い場所を試掘する予定である。
(所管課・工務課)

問 新たに試掘する井戸の水質が、現在の井戸より改善する見込みについて伺いたい。

答 新たに試掘する井戸は、現在、使用している井戸と場所を変える予定である。予定地は、玉作浄水場から見て、和田吉野川の対岸である。予定地の近隣にある荒川南部環境センターの井戸の水質が良質であるため、水質の改善が見込まれる。
(所管課・工務課)



玉作浄水場